

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-329235

(43)Date of publication of application : 27.11.2001

(51)Int.Cl.

C09J 7/02
A41G 3/00

(21)Application number : 2000-148743

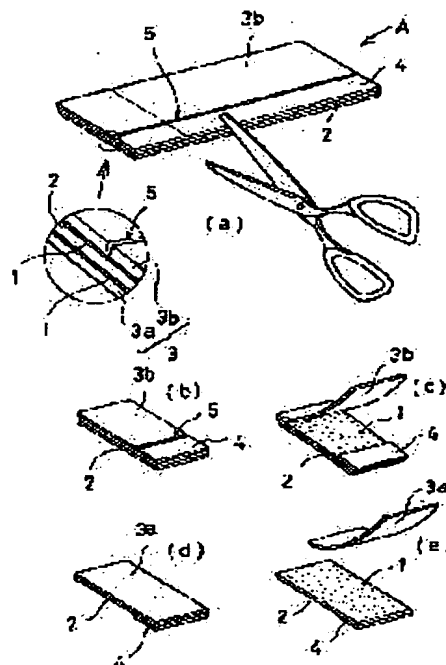
(71)Applicant : ACE KK

(22)Date of filing : 19.05.2000

(72)Inventor : YAMAMOTO ISAMU

(54) DOUBLE-SIDED ADHESIVE TAPE FOR WEARING WIG

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a double-sided adhesive tape suitable for wearing a wig.**SOLUTION:** The double-sided self-adhesive tape comprises a self-adhesive tape 2, having a self-adhesive layer 1, 1 formed on both the surface and the back surface thereof, and a release-treated release sheet 3a, 3b pasted on the both surfaces thereof, where one release sheet 3b has a width wider than that of the self-adhesive tape 2 and is laminated with one side edge lined up with a side edge of the self-adhesive tape 2 and the other side edge protruding beyond the other side edge of the self-adhesive tape 2. The release sheet 3b has a cut line 5 to cut it off from a cut piece part 4 along with the side edge not protruding and is peeled separately from the cut line 5. A part where the cut piece part 4 is left laminated after peeling shall be a picking margin.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-329235

(P2001-329235A)

(43) 公開日 平成13年11月27日 (2001. 11. 27)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テ-マコ-ト* (参考)
C 0 9 J 7/02		C 0 9 J 7/02	Z 4 J 0 0 4
A 4 1 G 3/00		A 4 1 G 3/00	J

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願2000-148743(P2000-148743)

(22) 出願日 平成12年 5 月19日 (2000. 5. 19)

(71) 出願人 500227509

エ-ス株式会社

名古屋市瑞穂区玉水町二丁目20番 1

(72) 発明者 山本 勇

名古屋市瑞穂区玉水町二丁目20番 1 エ-

ス株式会社内

(74) 代理人 100078721

弁理士 石田 喜樹

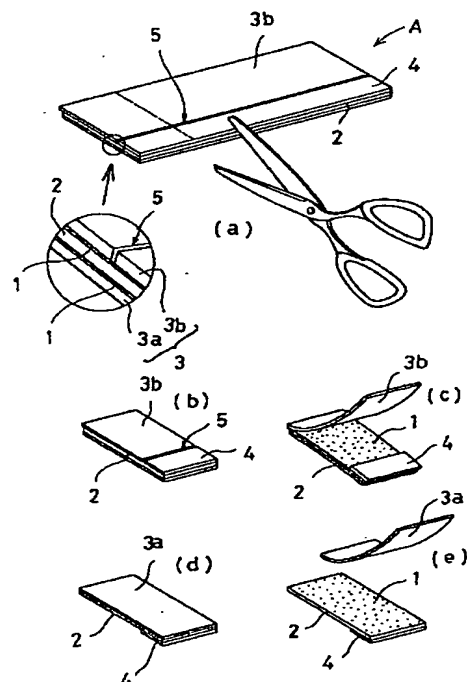
Fターム(参考) 4J004 AB01 CC02 DB05 EA05 FA08

(54) 【発明の名称】 かつら装着用両面接着テープ

(57) 【要約】

【課題】 かつら装着用に好適な両面接着テープを提供する。

【解決手段】 表裏両面に粘着剤層 1、1 が形成された粘着テープ 2 の両面に、剥離処理された剥離シート 3 a、3 b を貼り合わせて形成され、一方の剥離シート 3 b は、粘着テープ 2 より広幅で、その剥離シート 3 b は片側縁を粘着テープ 2 の側縁に合わせて貼り合わせることで他側縁に対してはみ出した状態になっていて、その剥離シート 3 b には、はみ出さない側の縁に沿って、切れ端部 4 と切り離すカットライン 5 を設け、そのカットライン 5 を境として剥がし残した切れ端部 4 が貼り付いている部分を摘み代とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 表裏両面に粘着剤層が形成された粘着テープの両面に、剥離処理された剥離シートが貼り合わされて、前記粘着テープの一侧縁に摘み代として利用可能な部分を設けたかつら装着用両面接着テープ。

【請求項2】 少なくとも表裏いずれか一方の剥離シートに、その剥離シートを剥離部と切れ端部とに分ける切れ目を設け、その切れ目を境として剥がし残した切れ端部の貼り付いている部分を摘み代として利用可能とした請求項1に記載のかつら装着用両面接着テープ。

【請求項3】 粘着テープの少なくとも一方の面に、粘着剤層の未形成部を部分的に設け、その粘着剤層の未形成部を摘み代として利用可能とした請求項1に記載のかつら装着用両面接着テープ。

【請求項4】 粘着テープの一侧縁に舌片を連設し、その舌片を摘み代とした請求項1に記載のかつら装着用両面接着テープ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、かつら装着用両面接着テープに関する。

【0002】

【従来の技術】かつらは、頭部全体にすっぽりと被せる全かつらから、部分的に覆う一部かつらまで用途に応じて数多くの形態があるが、いずれも頭部からずれないように、頭髪にピンで止着したり、剥離シート付きの粘着テープ、いわゆる両面接着テープと称されているものを利用して頭皮に直接貼り付けることによって固定している。前記かつらを頭皮に貼り付けるための両面接着テープは、材質的には皮膚へ刺激を与えにくいなどの医療的な配慮はされているものの、構造的には、片面に剥離紙が貼り合わされた長尺の粘着テープをロール状に巻いた市販の両面接着テープと変わりなく、それを必要な長さ毎に切断して使用していた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】かつらは、就眠するときは取り外し、汚れたらシャンプーをするなど、付けたり外したりする機会が多い。それにも拘わらず、これまでの両面接着テープは剥がすことについての考慮が全くないため、外したかつらに貼り付いている粘着テープを剥がすためには、端の部分を爪で引っ掻くようにして剥ぎ取らなくてはならないので、かつらの内面に爪痕が残る、かつらの寿命を縮めてしまう虞れがあった。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は、表裏両面に粘着剤層が設けられた粘着テープの両面に、剥離処理された剥離シートが貼り合わされたかつら装着用両面接着テープにあって、剥がし易い工夫を加えたものであって、その構成は、粘着テープの一侧縁に摘み代として利用可能な部分を設けたことにある。そして前記摘み代と

しては、少なくとも表裏いずれか一方の剥離シートに、その剥離シートを剥離部と切れ端部とに分ける切れ目を設け、その切れ目を境として剥がし残した切れ端部や、粘着テープの少なくとも一方の面に、粘着剤層の未形成部を部分的に設け、その粘着層の未形成部、或いは一侧縁に連設した舌片等を利用することができる。

【0005】

【発明の実施の形態】本発明に係るかつら装着用両面接着テープを図面に基づいて説明する。図1に示すかつら装着用両面接着テープAは、表裏両面に粘着剤層1、1が形成された細長い短冊状の透明な粘着テープ2の両面に、剥離処理された剥離シート3(3a、3b)が貼り合わされて構成される。前記剥離シート3の一方(3a)は、粘着テープ2と同じ幅で、互いに位置ずれなく貼り合わされ、他方の剥離シート(3b)は粘着テープ2より幅広で、片側縁をテープ2の片側縁に一致させることにより、他側縁が粘着テープ2から張り出すように貼り合わされており、その幅広い剥離シート(3b)には、片側縁寄りに、細幅の切れ端部4を切り離し可能な切れ目であるカットライン5が設けられている。

【0006】このように形成されたかつら用両面接着テープAは、図1の(a)に例示するように、先ず髪などで所望の大きさに切断し(図1のb)、剥離シート3bにおける粘着テープ2から張り出した剥離部分を剥がし(図1のc)、それをひっくり返し(図1のd)、前記剥離シート3bが剥がされた面をかつら側に向け、切れ端部4を付着させたまま図2に例示するように切れ端部が貼り付いている粘着テープ2、2・・・をかつらBの内面に貼り付ける(図2参照)。しかる後、粘着シート2の反対面に貼り合わされている剥離シート3aを剥がせば(図1のe)、かつらBを頭部6に貼り付け固定することができる。

【0007】かつらを取り外そうとすれば、粘着テープは粘着力が強く作用するかつら側に引っ張られてかつらに貼り付いたまま頭皮から剥がれる。かつらに貼り付いている粘着テープには、切れ端部4が付着したままであって、その切れ端部4が付着している部分はかつらに接着せず剥がれた状態になっている。そこでその切れ端部4が貼り付いていることによって剥がれている部位を摘むことができるので、いちいち爪で引っ掻かなくても簡単に剥がすことが可能である。

【0008】前記実施例は、一方の剥離シートを粘着テープより幅広く形成し、その一部が粘着テープの片縁から張り出すよう貼り合わせることによって、かつらに接着する側の面を見分ける目印としているが、粘着テープと同じ幅とし、色分けによって区別するようにしても差し支えないし、図3に示すように、二倍幅の剥離シート3を粘着テープ1の片側縁で折り返して表裏両面に連続して貼り合わせ、その剥離シート3における折り返し部寄りにカットライン5、5を設け、粘着テープ2の両面

に剥離シート3が剥がし残しされるようにすれば、使用する際に表と裏とを区別する必要はなくなる。又、剥離シートには必ずしも剥がし残し部分を設ける必要はないのであって、図4に示すように、粘着テープ1自体に粘着剤層の未形成部Pを設けておけば、その未形成部Pが常に剥がれた状態になっているので、その粘着剤層未形成部Pを摘み代として利用できる。

【0009】更に、例えば、S、M、L等と予め所定サイズにカットしたものを商品化したり、図5に示すように、粘着テープ2の片端縁に舌片7を連設し、その連設された舌片7を摘み代として利用すると共に、舌片7に

広告を印刷するなどデザイン的な配慮をしたり、肌触りを良くしてかつら装着時の違和感を和らげたり、大きくして摘みやすくするなど、適宜変更して差し支えない。

【0010】尚、かつらの裏面には、粘着テープを貼り付ける部位に補強シートを貼着しておき、その上に両面接着テープを重ね貼りするようにすれば、粘着テープの貼り付けや剥がす操作を繰り返してもかつらが痛まないようにしておくことが望ましい。

【0011】本発明は、摘み代として利用可能な部分を

*【0012】

【発明の効果】本発明によれば、粘着テープを剥がすときに摘み代として利用できる部分を設けたので、貼ったり剥がしたりを繰り返すことが多かつら接着用としてまさに好適であるといえる。そして剥離シートに設けた切れ目を境として剥がし残した切れ端部が貼り付いている部分を摘み代として利用するようにすれば、剥離シートの有効利用を図ることができる。又、粘着テープの粘着剤層未形成部を摘み代として利用するようにすれば、切れ端部の剥がし残しを気にせずにする。更に、粘着テープの一侧縁に連設した舌片を摘み代とすれば、体裁が良く、商品の価値も高くなる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るかつら用両面接着テープの実施例を示す説明図である。

【図2】使用例を示した説明図である。

【図3】変更例の説明図である。

【図4】変更例の説明図である。

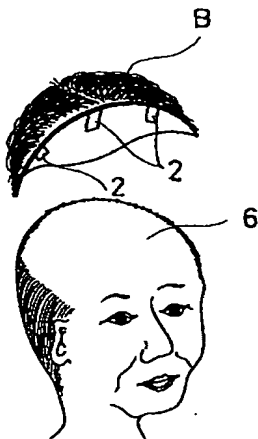
【図5】変更例の説明図である。

【符号の説明】

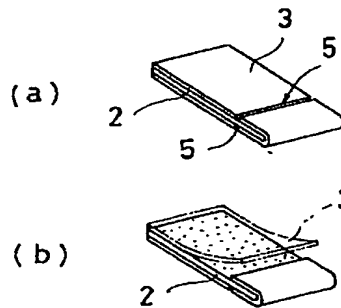
A・・・かつら用両面接着テープ、B・・・かつら、1・・・粘着剤層、2・・・粘着テープ、3・・・剥離シート、3a・・・（テープと同幅の）剥離シート、3b・・・（テープより幅広の）剥離シート、4・・・切れ端部、5・・・カットライン、6・・・頭部、7・・・舌片、P・・・粘着剤層未形成部。

*

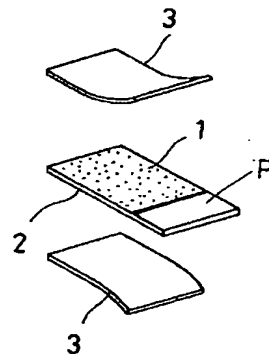
【図2】



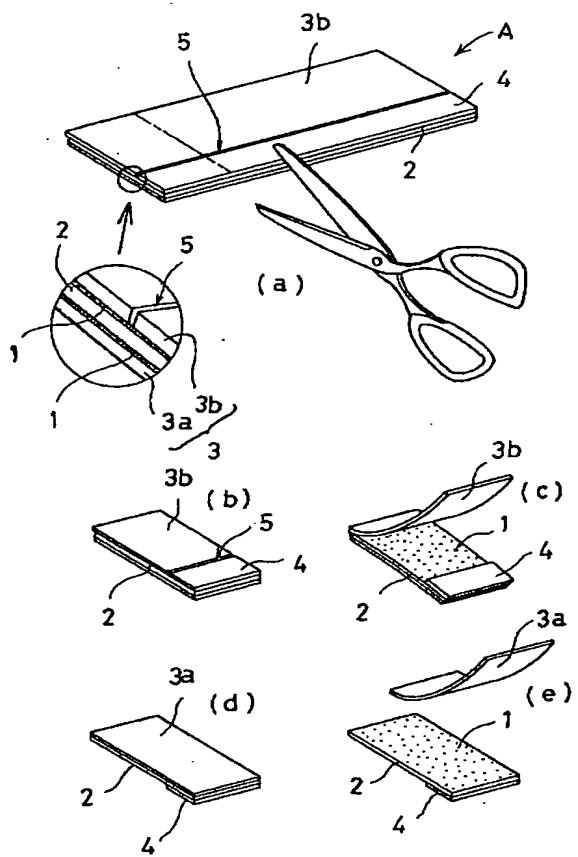
【図3】



【図4】



【図1】



【図5】

